

一小応援団 ～こどもたちのために「できるときに、できることを」～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働活動
大阪狭山市立 南第一小学校	南第一小学校学校運営協議会 令和2年10月1日 設置	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 0名 0名	南第一小学校 地域学校協働活動



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

近年児童数が減少し、単学級となる学年が増えている。児童数の減少に伴い、教職員の数が減少しており、様々な新しい教育課題に対応するために保護者や地域住民と一緒に効果的な学校づくりを行うことが必要である。また、同時に教職員が子どもと向き合う時間や授業研究する時間を十分に確保する必要がある。

目標や目指す姿(学校)

・一人ひとりが安心して楽しく学べる学校
・子どもたちが繋がり、みんなで伸びようとする学校
・家庭や地域との繋がりを大切に、連携して取り組む学校

目標や目指す姿(地域)

将来の地域づくりの担い手の育成や地域の教育力の向上



南第一小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員 | <input type="checkbox"/> 教職員 |
| <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 自治会関係者 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 主任児童委員 | など、計 11 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 大学教員 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

◆コミュニティ・スクールを導入するにあたって、事前に教職員研修として教職員、地域協働活動推進員、そして市教育委員会の学校教育担当、社会教育担当者が一緒になって意見交換をした。コミュニティ・スクール導入にあたっての疑問や不安、期待を共有した。

◆学校運営協議会設置当初は、各委員が積極的に意見を出すことが課題であったことから、事務局が事前に議題をメールにて周知している。加えて、様々な意見が出るよう、グループ討議などを取り入れた。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

上記の背景について、地域学習を充実させる取組が必要であると考え、一小応援団の発足を検討した。また、地域学校協働活動推進員と学校が連携し、5年生を対象とした地域の良さを知り石垣島へ発信する学習や、6年生を対象とした地域の未来を考えプレゼンテーションをする学習の提案があった。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

総合的な学習の時間に、石垣島の人たちへ自分たちの地域の良さを発信すると共に他の地域の良さも知る学習を行った。地域のことをより詳しく知るために、地域の方や観光会の方、ぶどう農園の方々から話を聞いたりしながら学習をすすめた。



さやまんちゅ☆しまんちゅプロジェクト

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

(課題や目標の共有)

地域学校協働活動に参画する地域住民等との学校の課題や目標の共有及び参加する地域住民等の確保が課題であった。そのため、地域のお祭りで「さやまんちゅ☆しまんちゅプロジェクト」の際、取り組んだぶどうの蔓を使ったリースづくりのワークショップブースを出し、学校の課題や目標を地域住民等に知ってもらおうと共に広報活動を行った。

取組

成果・効果

(指標)

学校アンケートの肯定的回答

- ・「学校へ行くのは楽しい」…80%
- ・「一小の先生のほかに、地域の人などいろいろな人から教えてもらっているのはよいことだ」…94%
- ・「先生は、私たちの話をよく聞いてくれる」…87%

(学校や参画する地域住民等の声)

- ・地域学習を進めるにあたって、地域の方々から詳しく学べたのがよかった。子どもたちがどうすれば相手に伝わるかを考えたり、アイデアを地域の方々から頂いたりできたことが、子どもたちの自主的な学習に繋がっていった。(教職員)
- ・学校の学習に関わり、子どもたちの本音が聞けて今の子どもたちは頼もしいと感じた。せつかくの機会なので、他の地域の方にも関わってもらいたいと思う。(地域住民)

◆保護者や地域の方が学校づくりへ効果的に参画することにより、より豊かな学習につながっている。